

東北中央自動車道に関わる

4市町対談

（新庄市 舟形町
金山町 真室川町）



山形県を縦断する東北中央自動車道の沿線にある4市町（真室川町、金山町、新庄市、舟形町）の方々にお集まりいただきました。農業や運送業に従事する方々で、道路がつながることによって生まれるメリットや、最上地域振興としてできることなどについて、それぞれの立場から語っていただきました。

東北中央自動車道などの道路整備により、みなさまから見てどのようなメリットが生まれませんか？

佐藤孝和さん…高規格道路が延伸することで、目的地までより早く到着できるようになり、輸送時間を短縮することができます。昨今問題になっている運転手の労働時間を減らすことができ、より安全な運送ができるようになると思います。また、労働時間の問題で、輸送先が関東までと限られていたのですが、いずれは輸送できる範囲を広げられる可能性が出てきました。輸送時間や運転手の労働時間は運賃にも関係してくるので、良い影響

が出てくれれば良いと考えています。**長倉直人さん**…当社の場合、関東方面はもちろんです。北方面への輸送面でメリットを大きく感じます。昨年からは青森県五所川原市で農地を借りて野菜の栽培を始めました。青森へ肥料などを運ぶにしても、逆に青森から生産物を集荷してくるにしても、現状では北へ向かう便が少ないため、チャーター便で運ぶ必要があり、コストが大きいという課題がありました。金山と秋田が高規格道路でつながると、チャーター便を使わなくても済みまし、少量でもコストを抑えて運べるメリットが出てくるのかなと思っています。

佐藤孝和さん…私たちは、トマトやブロッコリーなど日持ちの悪い青果品を生産出荷しています。高速道路ネットワークの整備が進むことで、安心して品質の良い商品をより早く消費者のみなさんに提供できることになると思います。

大場宗一さん…主に米の流通がメインとなってくるのですが、その売上げの5%ちかくを物流費が占めています。見えない部分での企業努力でコスト削減することも含め、道路が整備されることで、物流に係るコストの削減につながるのではないかと思います。また、高規格道路の整備により、モノも動くと考えられます。各業種が協力することで山形の農産物をもっと流通に乗せられるのではと思います。

道路が延伸することで、最上地域振興にどのようなつながりがあると思いますか？

大場宗一さん…舟形町は最上地域の一番南に位置していて、私自身、秋田県などの北の地域の距離感よりも、南の地域の距離感のほうが近く感じていました。今後、北の方に道路が整備されていくというところで、北の方にも目を向けていくきっかけとなると思います。神社仏閣や伝統、文化などの観光に行く方が多いのではないかと感じ

ます。そういった伝統、文化などもこの最上地域にはあると思うので、人の動きといった面でも、南北に道路がつながれば交流人口の増加にもつながるのかなと思います。

佐藤（孝）さん…及位地区は秋田県との県境にあります。道路が整備されることで新庄方面、秋田方面で交通の便が良くなり、救命・医療の面、農業だけでなく林業や製造業などさまざまな事業にも効果的であると思います。そういったことから、道路が早くつながってほしいです。

長倉直人さん…この地域の基幹産業はやっぱり農業。農作物がたくさん動けば、地域の振興に直結すると思います。道路がつながること、物流費が抑えられ、利益が上がり雇用が増えるといったような好循環が、当社を含めた地域全体で起きればうれしいことです。コストを抑えられた分、販売価格が下がって、物流もはけるようになれば、より理想的です。

当社は4月の約1ヵ月間以外、ほとんど通年で生産物を出荷しています。冬期間は「かまくらやさい」の出荷がメイン。一度収穫したものを貯蔵し、雪の下から掘り出すという作業が必要であり、倍の人員費がかかってしまう商品です。ある程度の単価で販売しなければならず、多く

は関東方面へ出荷しています。物流面でコストを抑えることができれば、道の駅など近場での販売も可能となります。先程お話しした青森の農地でも「かまくらやさい」を生産。山形のみならず東北のモノを運ぶことで、関東に売りこみやすくなると思います。

佐藤（昭）さん…東北中央自動車道は、山形県を縦断する長い道路になります。休憩をとって安全な運転をする意味でも、最上地域の物産振興の意味でも、最上区間に道の駅などがあるパーキングエリアを設置してほしいです。

佐藤運送では、新庄まつりのラッピングトラックを6台運行していて、関東圏に住む新庄市出身の方に喜んでもらっています。今後も運送業の中でのアピールなど、地域貢献に寄与できればと思います。

道路の利便性が高まることや、目的の地までにかかる時間が短くなることは、震災時の被災地への物資輸送などの災害支援時にも有用です。道路がつながることは、平時の生活を豊かにするだけでなく、非常時の対応を迅速にし、人々の安心感を生み出せるものだと思います。東北中央自動車道だけでなく、多くの道路がつながることで、人々の生活がより安全で豊かなものになっていくことを期待しています。

舟形町
funagata town

大場宗一さん
株式会社大場惣吉商店 代表取締役

創業は明治44年。企業として設立は平成7年。信頼できる生産者と協力して、舟形の清流の水で育てられたこだわりの美味しい米の、集荷・販売を行っている。

新庄市
shinjo city

佐藤昭彦さん
株式会社佐藤運送 代表取締役

ニラなどの農産物を含む生鮮食品を主体に輸送。地域貢献の一環として、首都圏に向け、新庄まつりのラッピング（原寸大山車の写真）が施されたトラックを運行している。

金山町
kaneyama town

長倉直人さん
株式会社エヌシップ 代表取締役

家業である農家を継ごうと平成22年に就農。平成24年1月に会社設立。当地ならではの「かまくらやさい」の生産や6次産業化に取り組む。周年農業を通して、町内での雇用拡大を目指す。

真室川町
mamurogawa town

佐藤孝和さん
農事組合法人ひまわり農場代表理事

農事組合法人ひまわり農場に就農し、今年2月に代表理事に就任。農地の集積を図り、大豆、米、ブロッコリー、ミニトマトや飼料用米、飼料作物の栽培など、真室川町全域の農地の担い手として活躍している。